



心になりますけれども、社会資本をもう一度考え直してみる必要があります。

そして、産業観光でございます。産業と交流の2つを申し上げましたが、それを結ぶものが産業観光ではないかと私は思うのであります。産業観光によって産業の原点に触れる。そこからスタートします。観光する人々に来てもらって交流を始める。そこからスタートいたします。環境産業と環境交流を結ぶものとして、産業観光が位置づけられていいのではないかと思います。たとえばそういったことが、これからの展開の中で考えられると思います。

こういった3つの目標に対して3つの手段がうまく組み合わせられることによりまして、新しい国づくりが進んでまいり、また進めなければいけないという趣旨のことをここに書いていますつもりでございます。

中部における地域づくりの留意点 …【中部の使命と課題】

中部の地域づくりを進めていく上では幾つかの留意点があります。

1点目は、選択と集中ということです。換言しますと重点化ということです。総花式に事業を進めないと言うことです。これまでかなり総花式に進められてきましたが、これからは重点化をしなければいけない。重点化をするということは、その効果が

広く及ぶようなところに重点化をするという意味でございますから、地方を切り捨てるという意味では決してないわけでありまして。選択と集中ということで重点化をしていかなければいけない。それがまず一つあると思います。

2点目は、幅広い連携が必要だと思えます。中部は日本の真ん中ですから、近畿圏、首都圏、北陸地域など、様々な地域とうまく連携を図っていくとともに、連携する仲立ちになる圏域ではないかと思えます。中部の機能をフルに発揮させるためには、幅広い連携という視点で考える。産業でも交通でも、他の経済圏と連携するにはどうしたらいいだろうかということをお断りなく念頭に置いて考える。その連携の中には、官民の連携も入ります。公的主体と民間とが連携することも入るわけでありまして、連携の中には必ず役割分担が生まれます。適正な役割分担をすることによって仕事が進みます。

その点を考えながら、重点的に、かつ適正な役割分担を持った幅の広い連携を、官民なり地方との間に広げていかなければいけない。これが中部に与えられた大きな使命ないしは課題ではないかと思っております。そう考えてまいりました場合に一つの方向が出てまいります。

そこで我々は「国土マインド」を持ちたい。これは「まんなか懇談会」で何人かの委員の方から出た言葉でございますが、国を思う心、地域を思う心です。この地域を大事にしていこう、どのようにいい地域にしようかということを考えていくのが国土マインド、地域マインドであります。そういうものが基本になれば、この地域をよくしていこうという基本がなければ、物事は進みません。何とか儲けてやろうというだけでは進まないわけでありまして、こういった国土マインド、地域マインドを持つことが大事だと思えます。

「ものづくりの心」の原点に立ち返れば奥深いものがあって、今日までの発展の課程とかこれからの方向が浮かび上がってまいります。産業観光を通じてそういったものづくりの原点に触れる。これも大事なことだと思います。

また、「観光する心」と申しますのは、自分たちの身の周りのものをよく見回して、他の地域の人々に心を込めてお見せした

ら、多くの人に来てもらえそうなものがたくさんあると思います。そうしたものを見つけ、それを多くの人に心を込めて見ていただく。そこから交流が始まります。絶えず身の周りのものを、観光という面から見てどのような役割を持っているのか、どのような位置づけができるのかを考えながら進めるのが「観光する心」でございます。

この3つの心、「国土マインド」「ものづくりの心」「観光する心」を皆が共有することが、この議論を進める際のスタートだと思えますし、また答えだと思えます。

万博の心を中部にいつまでも

そして、最後に「万博の心を中部にいつまでも」と私は言っております。万博で培われた心は、多くの人と交流しようという心です。あるいは、モノづくりの原点に触れようという心です。観光する心も養われました。何より大きいのは、非常に難しいと考えられた環境というものに正対する、真正面から対応していくことについて意見が一致した考え方が共有されたことは、非常に大きなことだったと思えます。「万博の心」であります。「万博の心を中部にいつまでも」というのが非常に大事なことではないかと思っております。

私どもは、この計画を中部地方整備局長にお示してまいりますときに、幾つかの要望をいたしました。たとえば、エコメッセをお作りいただけたらいかがですか。それから、伊勢湾の再生はこの地域にとって非常に大きなことなので、お考えいただけたらどうでしょうか。それから、防災が大事です。国際競争力が大事です。そのようなことについて具体的なプロジェクトチームなりをお作りいただけて、早急にお考えいただき、肉付けをしていただきたいと申し上げました。それらはほとんどスタートしてご研究いただいているところでございます。

そうしたものをさらにフィードバックいたしながら、文字どおり中部が日本の発展の原点になるように努力することが、国土形成計画に対して中部で対応できる一番大きなポイントだと思

ます。そのポイントに国の計画を対応させながら、新しい国土形成計画を作って、豊かな社会を作っていく。これが非常に大事なことではないだろうかと考えております。

ポスト万博と申します。ポスト万博というと、また新しく飛行場を作るとか、国際的なイベントを誘致するというような、陳情のターゲットを作るように思っている方がときどきいらっしゃると思います。しかし、そうではなからうと思えます。万博で得た心、「万博の心」をいつまでも我々が持ち続けながら、それを世界に広げていくこと。これがポスト万博ということだと思えます。

まさに国土形成計画は、ポスト万博という考え方に立って整備されるべきものだと思っております。それにはやはり私どもがそういう気持ちを持たなければいけない。最後は心の問題になっていくのではないかと思います。「万博の心を中部にいつまでも」を合い言葉として皆様と共有したいと思えます。ご清聴ありがとうございました。